

京都市台北情報拠点レポート(2019年12月・2020年1月分)

1 統計

○訪日旅行者数(台湾)

・2019年12月 348,300人 (2018年12月 335,790人) (伸率 3.7%)

・2020年1月 461,200人 (2019年1月 387,498人) (伸率 19.0%)

※出典「日本政府観光局(JNTO)」

○京都市内ホテル対象宿泊延べ人数(台湾)

・2019年12月 22,715人 (2018年12月 20,527人) (伸率 10.7%)

対象施設数:58ホテル

・2020年1月 28,124人 (2019年1月 25,872人) (伸率 8.7%)

対象施設数:58ホテル

※出典「京都市観光協会データ月報」

2 市場動向

(1)市場動向、トレンド

〔観光市場全体動向〕

2020年に入り、昨年台湾で運営が好調であった航空会社とフェリー市場で、2020年から新規航空会社と路線が増え、東京2020オリンピック等、2020年の台湾旅行市場は大きく期待されていた。だが、1月旧正月の頃、湖北省武漢市など各地で、新型コロナウイルス感染に伴う肺炎が発生していたことが分かった。この時期は中国で勤務する人の各国への帰省や旅行が多い時期である。ウイルスは「ヒトからヒト」の感染で、世界各地で感染が確認され、感染者数も日を追うごとに増加して、WHOが1月31日「緊急事態宣言」を発表した頃、中国の感染者は累計1万4380人、死者は304人となり、世界では約25国で、143人の感染が見つかった。台湾交通部観光局は、2月までに中国(香港、マカオを除く)からの団体旅行及び中国経由の乗り換え旅行を禁止する。その一方、台湾の外交部は、イタリア政府が中国と同様に台湾の航空便の運航を停止させたことに対し、台湾を中国の一部として扱わないと台湾の感染者は周辺の国々と比べて少ないとして撤回を求めた。

先月に続き、台湾の交通部(交通省)は1月末、資金繰りの悪化を理由に、昨年末に運航を全面停止した台湾のファーイースタン航空について、許認可を取り消したと発表した。旧正月期間、運航停止した台湾本島と離島を結ぶ路線のほか、六本の国際線の運航は、交通省からマンダリン航空やユニー航空等への交渉で、チャーター便が運航されることとなったことが分かった。

〔訪日市場動向〕

JNTO のデータによると、2019 年 12 月の訪日台湾人数は、前年同月比 3.7%増の 348,300 人で 12 月として過去最高を記録した。昨年は連休となった年末年始が連休にならなかったことに加え、ファーイースタン航空による運行停止があったものの、地方への新規就航や増便、チャーター便の運航による航空座席供給量の増加や円安傾向により、12 月として過去最高を記録したことが分かった。

冬の団体商品は台湾の総統選挙の影響で、販売状況は例年より遅くなっていたが、台湾で人気の花見時期がいよいよ到来することもあり、例年約 30 万人訪日の花見市場を狙って、エバー航空は青森・秋田連携のシーズンチャーター便の就航とフェリーで、桜を始め、藤の花、芝桜、ネモフィラなどの旅行商品を打ち出し、花見商品の販売状況は期待される。

〔訪日台湾旅客数推移〕

訪日台湾旅客数推移		
	JNTO 数値	台湾交通部観光局数値
	成長率 (%)	成長率 (%)
2019 年 11 月	348,300	368,499
	11.4%	2.29%
2019 年 12 月	348,300	未更新
	3.7%	未更新
JNTO: Japan National Tourism Organization		
交通部観光局: Tourism Bureau, M.O.T.C. Republic of China		

〔関空の定期便の動向〕

関空定期便利用状況 出国入国状況合計 2019 年 11 月					
路線	航空会社	便数(回)	座席総数(席)	利用者数(人)	席利用率(%)
大阪	チャイナ	352	93,678	84,118	89.8
	エバー	300	81,836	71,641	87.5
	キャセイ	60	26,140	23,372	89.4
	ジェットスター・アジア	94	16,920	14,773	87.3
	タイガーエア台湾	136	24,480	20,818	85.0
	JAL	63	9,258	8,588	92.8
	ピーチ	286	51,480	45,536	88.5
	エアアジア X	34	12,818	9,736	76.0
	スクート・タイガーエア	60	10,800	8,678	80.4
	チャイナ	352	93,678	84,118	89.8
合計		1,385	327,410	287,260	87.7
関空定期便利用状況 出国入国状況合計 2019 年 12 月					
路線	航空会社	便数(回)	座席総数(席)	利用者数(人)	席利用率(%)
	チャイナ	362	96,512	80,345	83.2
	エバー	310	84,644	69,259	81.8

大阪	キャセイ	62	24,982	21,023	84.2
	ジェットスター・アジア	102	18,360	15,016	81.8
	タイガーエア台湾	142	25,560	20,894	81.7
	JAL	62	8,928	8,206	91.9
	ピーチ	294	52,920	42,938	81.1
	エアアジア X	35	13,195	8,567	64.9
	スクート・タイガーエア	62	11,160	8,024	71.9
	チャイナ	362	96,512	80,345	83.2
合計		1,431	336,261	274,272	81.6